

◆8月の主な行事◆

～6日 保護者懇談

13日～16日 学校開庁日

27日 始業式

29日 PTA奉仕作業・バラ管理作業

31日 実力テスト

<教育目標> 自律 自啓 自尊 他尊

東雲

<http://kanuma-school.ed.jp/j-higashi/>

【発行者】

栃木県鹿沼市立東中学校

住所 鹿沼市府中町393

電話 0289-62-7225

FAX 0289-62-7226

校長 斎藤 美智雄

今学期を振り返って

四月に新入生300名を迎え、865名で令和3年度が始まりました。生徒達は、新型コロナウイルス感染症対策として、毎日マスクを着用、毎朝検温し登校、給食は前を向いて無言で、といった新しい生活様式のもと学校生活を送っています。

さて、今学期を振り返り、特筆すべきは、体育祭が実施できたこと、地区大会が実施できたことです。昨年度はほとんどの行事が実施できませんでした。部活動においては、3年生にとって集大成の年にもかかわらず大会ができませんでした。きっと涙を飲んだ生徒も多かったはずですが、しかし、今年は無観客とはいえ、体育祭も大会も実施できました。

体育祭での、学級の勝利を目指し精一杯頑張る姿や悔しがる姿、地区大会や、県大会で、勝利を目指し頑張る姿、喜ぶ姿、涙を流す姿は、本来の学校のあるべき姿です。これから生徒も教師も得るものが多く、あたりまえのように実施してきた学校行事の意義や大きな魅力を改めて実感させられました。生徒達にとって何ものにも代え難い思い出が残ったことだと思います。



今年の生徒会スローガンは「NEW WORLD NEW LIFE」共に創る新しい東中です。生徒達は制約が多い中でも、工夫して級友と交流を図り、生活を充実させているように見受けられます。2学期以降

※ 事務室から・・・毎月一五日が学校集金の引き落とし日になります。

も、職員一同、新型コロナウイルス感染症対策を十分行い、工夫して生徒達に感謝を与えられるような学校教育を実現していきたいと思っています。

授業参観・学年懇談

教頭

授業参観・学年懇談を新型コロナウイルス感染症予防のため学年ごとに日にちを分け、六月二十九日、三十日、七月二日に実施しました。

教室での授業参観に加え、体育館での体育祭ビデオ上映も行いました。初めての試みでしたが、保護者の方々には、無観客で実施した体育祭の様子をお伝えすることができたのではないかと思います。御理解御協力ありがとうございました。

また、授業参観後の修学旅行をはじめとする各学年の学校行事の説明会では、安全を最優先し、できるだけの教育活動を展開していくという本校の方針を説明させていただきました。

お忙しい中御参加いただき、ありがとうございます。教務主任



学校評議員会

六月二十二日(火)に学校評議員会を開催し、5名の評議員の方に御参加いただきました。

学校より、校長が本校の教育目標や今年度の重点課題等について、各担当者が新型コロナウイルス感染症対策、教育課程、学習指導、生徒指導、保健安全、地域連携、キャリア教育等について説明をしました。

次に、これらの説明を踏まえて、学校評議員の方々から、「学校経営の中に、PDCAサイクルとあるが、どのように生徒に意識づけているか?」や「評価は勉強だけの評価ではなく、他の部分の評価もして、高校に入ってからでも活躍できる力をつけてほしい。」などの御意見や御質問をいただきました。

学校評議員会でいただいた貴重な意見や質問等を生かし、教育活動の一層の充実に努めて参ります。教頭

地区総合体育大会

七月一〇日(土)、十一日(日)、十七日(土)、十八日(日)にかけて地区総合体育大会が行われました。

3年生にとっては、この夏の総合体育大会が最後の大会となります。どの部においても、中学校3年間の練習の成果を発揮すべく挑んでおりました。

結果については、次号に県大会の結果と合わせて御報告したいと思います。応援ありがとうございました。部活動担当

夏休みに、じっくり考えよう

「自分から勉強する子」は、勉強する意味を明確に理解している割合が高い傾向にあることが、ある調査結果から明らかになりました。また親と、将来や進路について話をすると答えた子どもは、比較的勉強時間が長いという傾向も見られました。



比較的自由な時間の多い夏休み。その中で、家庭でのルールを再確認し、将来に向けて今頑張ることは何か、今の自分に足りていないことを克服するためには？何度も何度も家族と話をしたり時間を共にしたりすることで、お子さんは少しずつかもしませんが、自分の目指す姿に近づいていくのではないかと思います。

ぜひ夏休みに、進路や将来についてじっくり時間をとって話をしていただけたらと思います。

学習指導主任

安全・安心な夏休み

七月二十一日(水)から八月二十六日(木)まで、37日間の夏休みとなります。有意義な夏休みになるよう次のことをお願いいたします。

○休み中も学校で行っている感染症対策「感染源を絶つこと、感染経路を絶つこと、抵抗力を高めること」を継続して行う。

○こまめな水分補給や暑さに負けない体づくり等の熱中症対策を行う。

○交通事故や水難事故の防止、非行防止などに努める。

夏休みは気が緩みがちです。お子様には、自ら危険を回避する力が高まるように、御家庭におかれましては、御指導・御協力のほど、お願いいたします。

生徒指導主事

英語スピーチコンテスト

七月五日(月)に校内英語スピーチコンテストを行いました。計10名の生徒が参加し、それぞれが自分の力で考えた英語の自己紹介を発表しました。中には2分以上話す生徒もいました。それぞれが、自分の伝えたいことを堂々と流暢な英語でスピーチしていました。3年生の最優秀賞の生徒は高円宮杯スピーチコンテストへ、1,2年の最優秀賞と三年の優秀賞の生徒は、地区英語スピーチコンテストに東中学校の代表として参加します。

英語科主任

少年の主張発表会

七月七日(水)、少年の主張校内発表会を体育館で、3年生のみで行いました。国語の学習の一環として、日常生活の中で感じたことを、論理的に考え、自分の言葉で正しく伝える力を育てることが目的です。また、他人の考えを謙虚に聞き、自らの生き方を振り返る機会ともなります。



各クラスで選ばれた代表者8名の発表のテーマは、家族、部活動、SNS、コロナ禍で感じたことなど、どれも身近なことからの気づきが中心でした。自分自身と真剣に向き合ったことが、力強い言葉と自信ある姿勢から伝わってきました。参加した誰もが言葉に耳を澄まし、真摯な雰囲気満たされたという、素晴らしい時間を共有できました。この時間が、自分と社会とのつながりを考えるきっかけとなることを期待します。

国語科主任

教育相談を通して

六月を教育相談月間とし、全校生徒を対象に担任との面談を実施しました。

相談内容は、1年生は、部活動と勉強の両立、部活動での先輩との接し方など。2年生は、勉強が難しくなってきたりすること、クラス内での友人関係についてなど。3年生は、受験生としての勉強方法など進路についてが主でした。

今後も、生徒の様子を注意深く観察し、必要に応じて声をかけるなどして、生徒が充実した学校生活を過ごせるように、生徒の心に寄り添いながら対応をしていきます。

教育相談担当

自分の将来について考えよう

中学校の3年間は、さまざまな体験をし、自分の特徴や得手不得手を知り、日々の生活や学習を一つ一つ積み重ね、悩みながら自分の進む道を探す大事な時期です。昨年度から始まったキャリアパスポートも自分の成長を確認し、次のステップに進むためのものです。

3年生においては、夏休み中に県立高校、私立高校の一日体験学習が、現在実施の方向で進んでいます。また各高校ともホームページで、学校の紹介に力を入れています。進路選択の参考にするため、是非ご覧下さい。

2年生では「職業人に学ぶ」と題し、青年会議所の方を講師として、働くことの意義や大変さ、職業への理解を深めることができました。

夏休みは、お子様にとって時間にゆとりがあり、自分自身に向き合うチャンスです。是非一番のサポーターである保護者の皆様には、お子様と将来のことについて話し合う時間をとっていただきたいと思います。

進路指導主事

